

京都の河川と海岸

 京都府

河川整備の基本方針

2010年に向けた京都府づくりの基本的な指針である「新京都府総合計画」において「豊かな社会基盤が支える快適でうるおいのある社会」等の将来像を達成するため、「災害に強い国土づくり」を目指し、5つの基本方針により河川整備などの治水対策を進めていきます。

1

水害から
まちを守る

2

活力ある
まちづくりの支援

3

美しい河川環境を
次世代に引き継ぐ

災害に強い
美しい国土づくり

4

府民参画による
川づくり

5

災害への
迅速かつ的確な
対応のための
情報提供

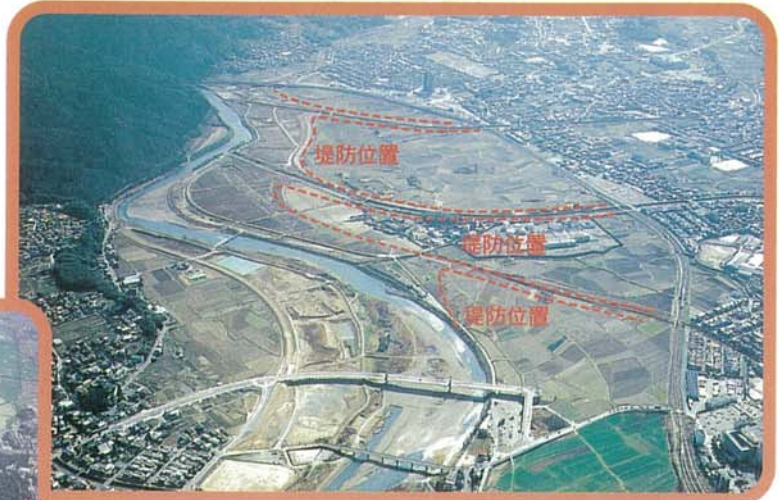
1 水害からまちを守る

桂川

桂川沿川は、昭和35年の伊勢湾台風の出水をはじめ、度重なる浸水被害を受けていることから、洪水調節機能をもった日吉ダム建設（平成10年4月管理開始）に合わせて河川整備を実施しています。



桂川浸水状況（平成元年9月）



桂川（亀岡市）整備中

古川

都市化の進展に伴う内水被害が発生しており、昭和61年の出水では、家屋3,274戸の浸水被害を受けている。激甚災害対策特別緊急事業により城陽排水機場を設置するなど河川改修を進めています。



古川（宇治市）整備済区間



古川浸水状況（昭和61年7月）

大手川

平成10・11年と連続して人家浸水被害が発生しており、河川整備計画に基づき事業を実施しています。



大手川浸水状況（平成10年9月）

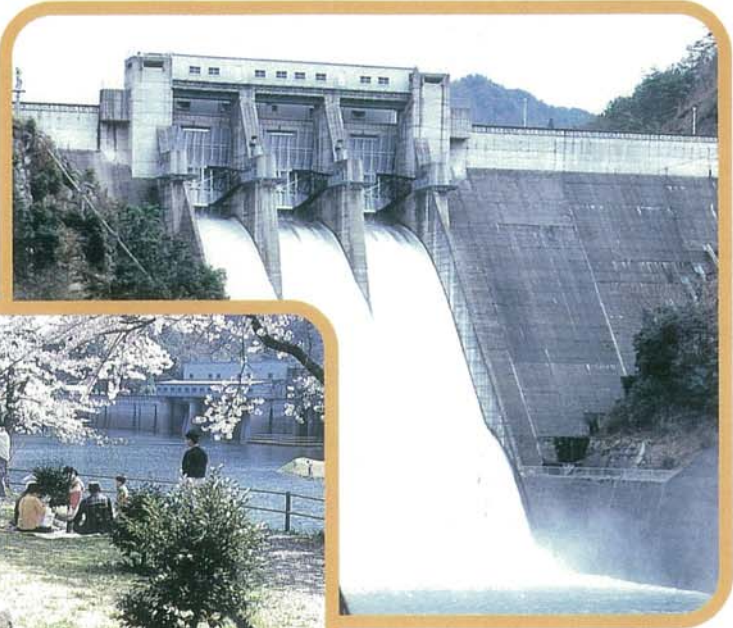


大手川（宮津市）整備イメージ図

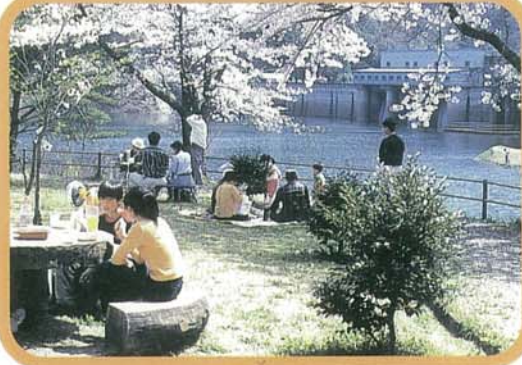
2 活力あるまちづくりの支援

地域に開かれた 大野ダム

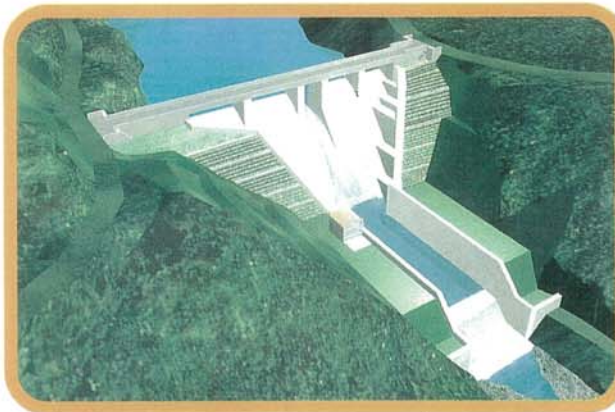
大野ダムでは、ダム周辺環境整備によりダム湖周辺に公園等を整備し、地域住民等に広く利用されています。



大野ダム



大野ダム公園の利用状況



畑川ダム完成予想図

安心・安全を 支えるダム建設

洪水調節、既得取水の安定化と河川環境の保全、水道用水などの水資源開発を目的とした多目的ダムの建設・管理を行っています。現在、畑川ダムなどについて調査・建設中です。

ダムの働き



既得取水の安定化と 河川環境の保全

河川が持っている機能（既得用水等の安定取水、河川環境の保全）を正常に維持するため、渇水時にダムから水の補給を行います。

ダムがないと…



ダムが出来れば…



洪水調節

洪水の時に河川の水をダムで調節することにより下流の洪水被害を軽減します。



京都府宇治浄水場

水資源開発

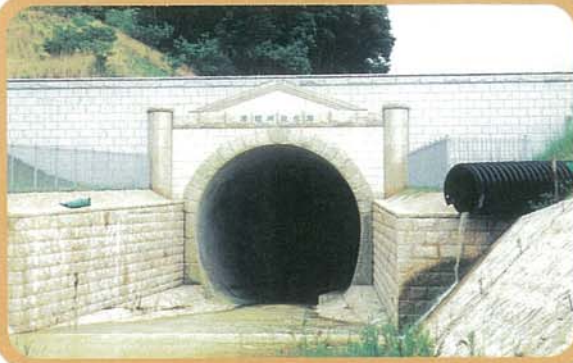
ダムにより河川の流量が豊かなときに水を貯えて、必要な流量が不足しているときには安定的な水が利用できるようにしたり、水道用水の確保などを行います。

関西文化学術 研究都市の建設を 支援する治水対策

学研都市の建設を契機に、煤谷川では防災調節池による洪水調節機能を考慮した河川整備を進め、井関川では天井川対策としてトンネル放水路と現川の改修を実施しています。



煤谷川住宅宅地関連公共施設等総合整備事業



井関川住宅宅地関連公共施設等総合整備事業
(トンネル放水路)

第二京阪道路の 建設に合わせた 河川整備

八幡市市街地の洪水による被害を軽減するため、第二京阪道路の建設に合わせて道路と一体構造の防賀川上津屋放水路を整備しています。



防賀川広域基幹河川改修事業

農業基盤整備 (ほ場整備) 事業を支援する 河川整備

ほ場整備事業に合わせて、整備区域内の河川改修を実施しています。

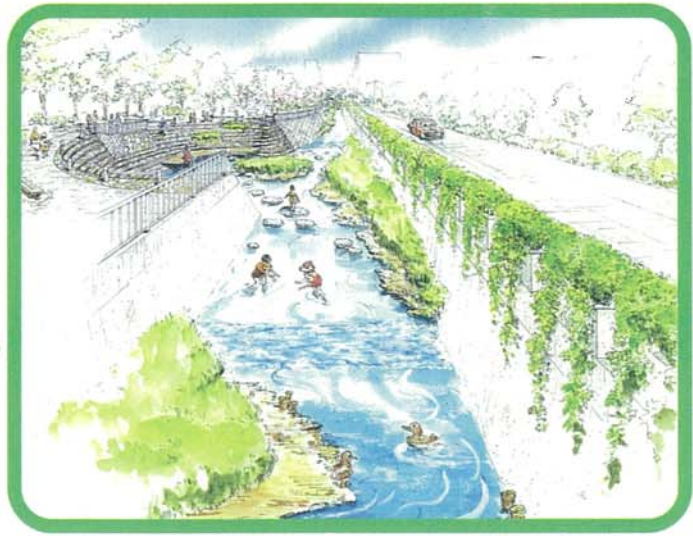


犀川農業基盤整備事業関連河川改修事業

3 美しい河川環境を次世代に引き継ぐ

西高瀬川清流復活

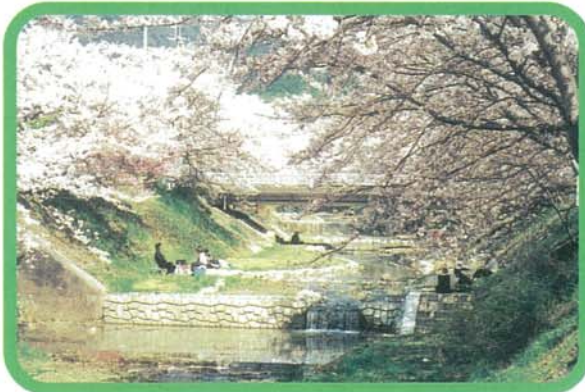
平常時に水のない河川に導水して流れを復活させ、失われた川らしい景観やうるおいのある水と緑の都市空間を再生します。



整備イメージ図

水辺環境整備

京都府内の各市町村を対象に、その「まちの顔」といえる河川において、地域住民に親しまれる良好な水辺空間を整備しています。



玉川

魚道整備

魚類や水生昆虫等の連続した生息環境を確保するため、魚道を設置し、魚道のプールには間伐材を活用した木工沈床を設置しています。



友淵川

多自然型浚渫

浚渫に当たり河川の蛇行や瀬と淵を考慮したみお筋を掘削し、ツルヨシの繁茂を改善しています。



棚野川施工前(平成8年8月)



施工後(平成12年6月)



みやこ

京の川づくり事業

京都市域の41河川を対象に、山紫水明の歴史都市京都の風土・文化にふさわしい
うるおいのある美しい川づくりをめざしています。

鴨川「花の回廊」整備



河川改修に合わせて、四季折々の花や木を楽しみつつ鴨川の川面を眺めながら散策できる緑の空間を整備しました。
(三条から七条間の左岸)



鴨川ふるさとの川モデル事業

山科川「洛東の散策路」整備



周辺の学校や商業施設などを結び、川に親しめる散策路を整備しています。

小畑川「水辺の舞台」整備



川を舞台に見立てた親水施設を整備し、車椅子の方も川へのアプローチが容易なようにスロープを設置しています。

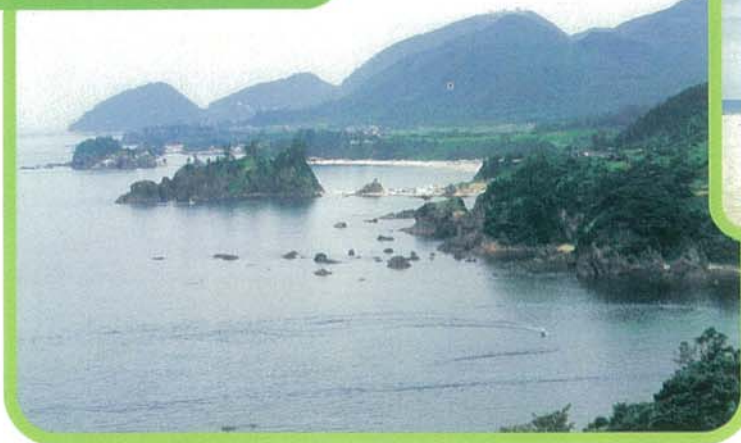
京の川づくり ゾーニング図



美しく、安全で、いきいきとした海岸づくり

京都府の海岸は、府北部の日本海側に位置し、リアス式の入り組んだ地形が織りなす風光明媚な景勝地や鳴き砂で知られる「琴引浜」など優れた自然景観を形成しています。京都府では、海岸の防護はもとより自然環境や利用のしやすさにも配慮した海岸事業に取り組んでいます。

美しい海岸景観



丹後町上野・平海岸



網野町琴引浜

冬季風浪による越波



丹後町後ヶ浜海岸（平成3年2月）



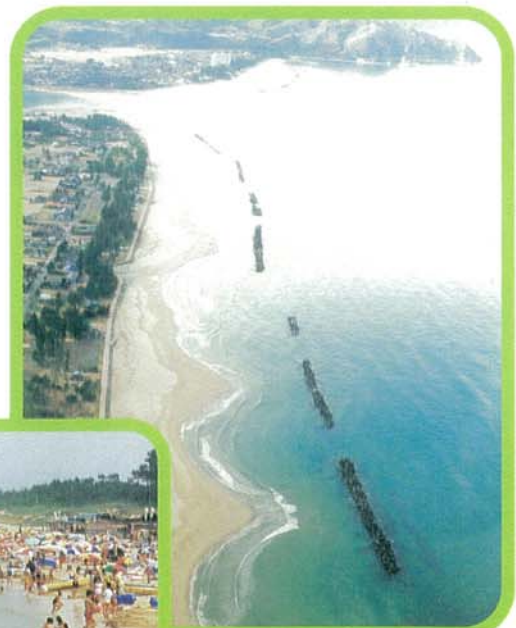
海岸整備



網野町浅茂川海岸
環境整備事業による整備



久美浜町久美浜海岸
侵食対策事業による整備



舞鶴市神崎海岸
侵食対策事業による整備

4 府民参画による川づくり

新しい計画制度

河川整備基本方針

内容:基本方針、基本高水、計画高水流量等

河川整備基本方針の案の作成

意見

河川整備基本方針決定

- 河川審議会(一級河川)
- 都道府県河川審議会(二級河川)
都道府県河川審議会がある場合

河川整備計画

内容:河川工事、河川の維持の内容

原案

意見

河川整備計画の案の作成

意見

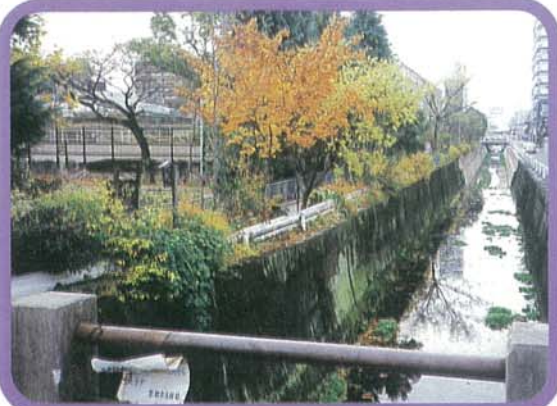
河川整備計画の決定

- 学識経験者
- 公聴会の開催等による住民意見の反映
- 地方公共団体の長

河川工事、河川の維持

西高瀬川ワークショップ

西高瀬川の環境整備のあり方について考え、行政と地域住民が協働で整備案を作成するためにワークショップを開催しました。



提案された整備イメージ図

二級河川大手川の事例

宮津市を流れる大手川では、平成10年9月の洪水を契機として河川整備基本方針・河川整備計画を策定しました。



地元説明会



リバーウォッチング

ワークショップの様子

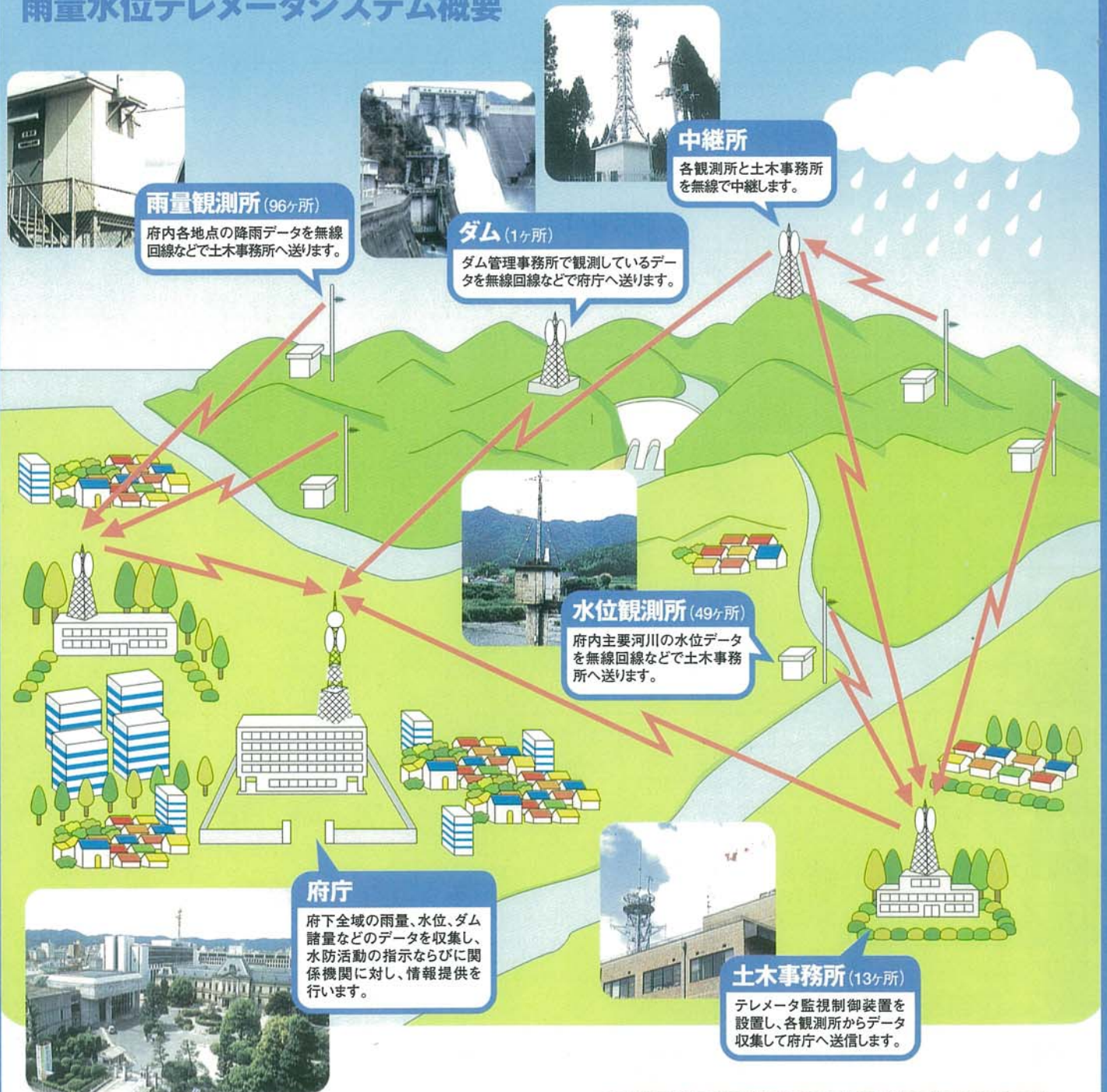


ワークショップとは?

経験や年齢、立場の異なる様々な人々が、参加体験型の学習により、共同作業しながら、ある成果を創造する手法です。

5 災害への迅速かつ的確な対応のための情報提供

雨量水位テレメータシステム概要



水防警報

出水時に水防団・消防団等の活動の目安となる河川情報を提供することで、危険個所の早期発見や的確な水防活動に役立ちます。京都府では、鴨川、桂川、小畑川、園部川、伊佐津川、大手川及び福田川で水防警報を実施しています。

水防訓練

府職員及び市町村職員の水防技術の向上を図るとともに、水防の重要性をPRするため、毎年、水防訓練を実施しています。



美しい川と海を護る

河川管理

河川を快適な空間に保つため、除草やパトロールなどを行っています。



鴨川



ボランティアによる 清掃活動

府民のみなさんの協力をいただきながら、川や海を美しく管理することを心がけています。自分たちの住む町の環境を守ろうと積極的な活動が展開されています。また府も、清掃用具の提供やゴミ処分などの支援を行っています。



伊佐津川



琴引浜海岸

鳴き砂で有名な琴引浜

京都府網野町の琴引浜は、歩くと砂が鳴る全国有数の鳴き砂の浜です。同町は、一般公共海岸では全国で初めて府より管理委任を受け、「網野町美しいふるさと条例」等を制定し、鳴き砂保護の指導、啓発に努めています。

川をきれいに
しようネ



小畑川

川のことば

【本川・支川】

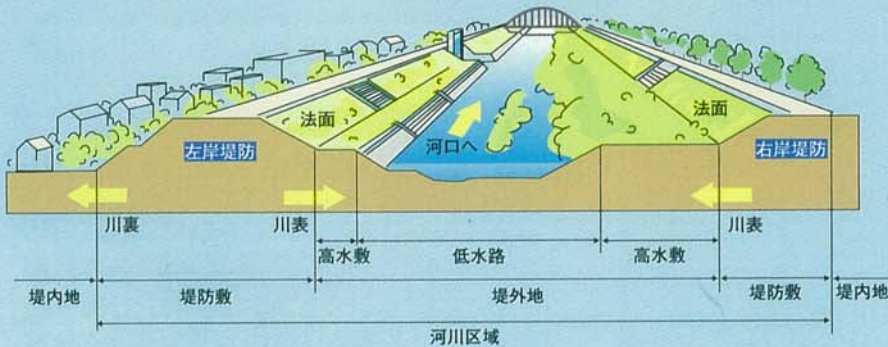
水系の主流となって河口に向かう木の幹にあたる流れを、本川あるいは本流、幹川と称し、枝に相当する流れを支川あるいは支流という。

【堤内地・堤外地】

堤内地とは、堤防によって洪水から守られている区域を示す。水の流れている川側の区域が堤外地である。

【流域】

一つの川に水が集まる範囲の全地域を流域という。支川にはそれぞれの支川ごとに流域があり、それらが集合して、全流域を形成する。全ての支川を含めた全流域のことを、水系ともいう。



【高水敷】

平均水位(常時水位)よりも高い位置にある河川の敷地をいう。平常時には様々な活動に利用され、植生が茂ったりしているが、大きな洪水の時は水没する。

【左岸と右岸】

川の上流から下流に向かって、左側が左岸、右側が右岸である。

【低水路(低水敷)】

平常時に水を流す部分で、平均低水位より低い位置にある。

【霞堤】

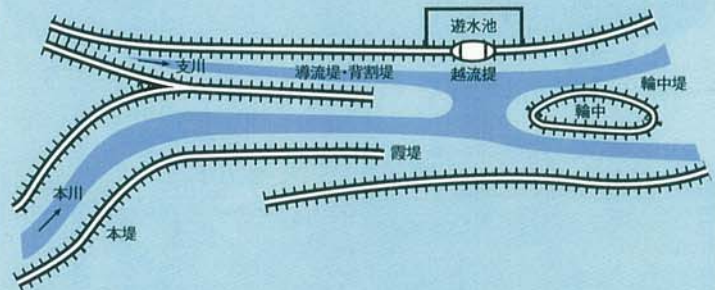
急流河川において、比較的好く見られる不連続な堤防。戦国時代に武田信玄が、山梨県の釜無川において採用したのが最初といわれている。京都府では、桂川や由良川に見られる。

【越流堤】

洪水調節の目的で、堤防の一部を低くした堤防。増水した河川の水の一部を調節池などに流し込むことで水害を抑制する。

【輪中堤】

ある区域を洪水から守るために、その周囲を囲むように作られた堤防。木曾三川下流の濃尾平野の輪中が有名。



World Water Council
3rd World Water Forum

みんなで考えましょう。京都から世界の水のこと。

第3回世界水フォーラム

2003年3月16日～23日 京都・滋賀・大阪を結んで開催

世界水フォーラムは、洪水、渇水、水質汚濁など世界のあらゆる水問題の解決を目指す国際会議です。



〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町
京都府土木建築部河川課

TEL075-441-8432 e-mail:kasen@mail.pref.kyoto.jp